

パソコン内蔵 HDD 故障時の対策手順

藤井、山崎

- 1) 外部 HDD(200GB 以上の空き領域要)へ Windows バックアップをとる。(システム・イメージを含むパソコン全体。完全に HDD が故障の場合はバックアップが取れない。過去に作成のバックアップを使用すること)
- 2) HDD を外し、型番を控える。できたら HDD の在庫や同等品をネットで調べる。
- 3) HDD を購入。ネットで調べるができなかったら店員に聞く。
- 4) HDD を交換する。
- 5) CD/DVD に保存しておいた リカバリーファイルを新 HDD へコピーし、購入時の初期状態へ戻す。
- 6) 外部 HDD に保存しておいた Windows バックアップを新 HDD へコピーし、最近の状態に戻す。

以上

確認事項

- 1) ネット接続、ブラウザ (and/or Chrome, Fire Fox) 動作
- 2) ダウンロードした無償、有償ソフトの動作
- 3) メールデータおよび動作
Chrome および Gmail を使用している場合、メールのみならず bookmark までなにもせず回復
- 4) ディスク C および D のデータ

日頃から用意しておくもの

- 1) 外部 HDD (Windows バックアップ用: パソコン全体=システム・イメージ+写真、Video、Word/Excel/PPT などの Office データ)。
- 2) リカバリー用 CD/DVD の作成
最近はずいぶん HDD 内にリカバリーファイルが保存されているためリカバリー用 DVD は付属していない。HDD の故障に備え PC を購入した時に CD/DVD でリカバリーディスクを作成する。(工場出荷状態に戻すためのディスク)。

HDD 故障以外にも下記のような場合にもリカバリーが行われる。

- ・パソコンが重くなった場合のリカバリー、
- ・パソコンを人に譲る時・リサイクル時のデータ削除のためのリカバリーなど。

- 3) パソコンの HDD の取り外しかた。(パソコンによっては交換が不可能の場合がある)
SSD への換装 (出来れば HDD でなくて SSD への交換を推奨) や
パソコンを破棄するときのデータ削除に HDD を金槌やハンマーで壊す際などに必要
- 4) 定期的な Windows バックアップ (システム・イメージを含むパソコン全体)
(参考) [初心者でもわかる! Windows 7 でバックアップ](#)

上記の対策手順で対策できない場合に備えて。

- 5) 今までにダウンロードしたソフトのリスト。
- 6) 今までに購入したソフトのリスト。(シリアルナンバー含む。その他 user ID や商品番号が必要な場合あり。購入時の CD やカードに記入されている)
- 7) Office のプロダクトキー。(内蔵されているのに CD が添付されており、CD に記載されている)

Windows update を手動で行わなければならないときの注意

update 件数が数百 (5~6 年分) におよぶ場合は、

Windows →すべてのプログラム→Windows update→更新プログラムの確認

で少しずつ (例えば 3 ヶ月分、6 ヶ月分、1 年分など) で行う。

(参考) [パソコンHDD故障対策奮闘記 藤井](#)